

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野科 目コード:280007 助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期) Midwifery diagnosis / technology special exercise Ⅱ (Delivery period)					
担当教員	曾山 小織、亀田 幸枝、河合 美佳、川久保 佳代(非)、石田 美幸(非)				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	4	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	90		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	分娩期、助産診断、助産過程、フィジカルイグザミネーション、分娩介助、急速遂娩、産科救急、帝王切開				
学習目的・目標	1 助産師が行う分娩期のケアの基本となる考え方(理論的基盤、エビデンス、倫理的配慮)を説明できる。 2 分娩期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、正常経過を促すケアを立案できる。 3 分娩介助にかかわる基本的な助産技術、ケア技術を修得し、対象に応じた適切な態度で実施できる。 4 正常からの逸脱状態を予測・判断し、異常の早期発見と対応について説明できる。 5 安全、安楽、満足な出産を実現するための助産ケアについて、多様な分娩スタイルや産痛緩和法を含めて述べる ことができる。 6 分娩期のフィジカルイグザミネーション(産婦の全身状態、胎児と分娩進行のアセスメント、分泌物・破水の判断等)を適切に 実施できる。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1	オリエンテーション、学習課題提示		曾山		
2	さまざまな分娩を知ろう	DVD視聴・討議	曾山		
3	分娩に関連する解剖学知識(課題確認)	講義・演習	曾山		
4	分娩期の助産診断に必要な知識、診断・アセスメント視点	講義	曾山		
5	助産師がおこなう分娩期のケア	DVD視聴・討議	曾山		
6-17	分娩期の助産過程の展開 (PBL)	演習	曾山・河合		
18-21	分娩期のフィジカルイグザミネーション 産婦の全身状態、胎児と分娩進行のアセスメント、分泌物・破水、分娩進行度、胎児 の健康度、パースプラン等	講義・演習	曾山・河合		
22-31	分娩介助技術 分娩介助の意義と原理、分娩介助に伴う技術、人工破膜、胎児付属物の精査と計測、 間接介助、ベビーキャッチ、出生直後の新生児のアセスメントとケア等含む 記録、出生届、パースレビュー等	講義・演習	曾山・河合		
32-33	フリースタイル分娩の介助と産痛緩和のケア	講義・演習	川久保・石田		
34-39	分娩期のシミュレーション学習	演習・討議	曾山・亀田・河合		
40-41	分娩介助技術【自主学习】	演習	曾山・河合		
42-45	分娩介助技術確認	演習	曾山・河合・亀田		
	定期試験				
教科書	助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア:日本看護協会出版会 新版 助産師業務要覧 第4版[Ⅱ実践編]:日本看護協会出版会 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 2版:医学書院 正常分娩の助産術:医学書院 新改訂2版 写真でわかる助産技術:インターメディアカ 今日の助産 改定第5版:南江堂 産科診療ガイドライン-産科編2023-:日本産婦人科学会 病気がみえる vol.10 産科 第4版:MEDIC MEDICA				
参考図書等	助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア:日本看護協会出版会 実践マタニティ診断:最新版 最新産科学 正常編:文光堂:最新版 最新産科学 異常編:文光堂:最新版 WHO推奨ポジティブな出産体験のための分娩期ケア:医学書院				
評価方法・基準	定期試験:60%、演習・討議:40%				
関連科目	助産診断・技術特論演習Ⅰ(概論・妊娠期)、助産診断・技術特論演習Ⅲ(産褥期・新生児期・乳幼児期)、助産診 断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)、助産管理特論、助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)、助産実践実習Ⅰ-2(正常)、 助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)				
教員から学生へのメ ッセージ	PBLの開始前に分娩期の基礎的知識を確実に習得しておきましょう。妊娠期からの連続性を念頭に置き、安全で満 足な出産の実現に向けて、知識・技術・態度を総合的に磨いてください。本科目は助産実践の基盤となる重要 な科目です。分娩介助技術の習得には繰り返しの練習が不可欠ですので、自主学习の時間も積極的に活用 してください。対象の安全・安楽・満足を常に最優先とする助産師の姿勢を大切にしてください。				